

(国) 第3次計画の達成状況と(市) アンケート第1期～3期の進捗状況

1 家庭における食育の推進

① 国

具体的な目標値	計画作成時 (平成27年度)	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	達成 状況
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	9.7回	10.0回	週11回	△
朝食を欠食する子供の割合	4.4%	4.6%	0%	▼

② 徳島市

本市の状況	第1期策定時 (平成20年度)	第2期策定時 (平成27年度)	第3期策定時 (令和2年度)	進捗 状況
家族との共食の機会が週6日以上ある人の割合 (朝ごはん)	-	41.0%	45.3%	△
家族との共食の機会が週6日以上ある人の割合 (夕ごはん)	-	54.3%	65.5%	△
朝ごはんの摂取状況	84.0%	81.2%	83.3%	△
朝ごはんの欠食率 (6～11歳)	5.6%	2.3%	4.9%	▼
朝ごはんの欠食率 (12～14歳)	9.4%	10.5%	13.2%	▼

※『家族との共食の機会』に関する質問については、第1期と第2・3期との設問・回答項目が異なっているため、第1期策定時の数値を省略。

※『朝食の欠食率』に関する質問については、国は「毎日食べている・どちらかといえば、食べている・あまり食べていない・全く食べていない・その他」の項目から「あまり食べていない・全く食べていない」の回答を集計。市は「毎日食べている・1週間に2～3回食べないことがある・1週間に4～5回食べないことがある・全く食べていない」の項目から「毎日食べている」以外の回答を集計。

- ・ 共食の機会は、国・市ともに増加している。
- ・ 全体の朝ごはんの摂取状況はおおむね横ばいだが、徳島市の 12～14 歳の欠食率は徐々に増加している。

2 学校、保育所等における食育の推進

① 国

具体的な目標値	計画作成時 (平成 27 年度)	現状値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 2 年度)	達成 状況
中学校における学 校給食実施率	87.5%	93.2%	90%以上	◎
学校給食における 地場産物を使用す る割合	26.9%	26.0%	30%以上	▼
学校給食における 国産食材を使用す る割合	77.3%	76.0%	80%以上	▼

② 徳島市

本市の状況	第 1 期策定時 (平成 20 年度)	第 2 期策定時 (平成 27 年度)	第 3 期策定時 (令和 2 年度)	進捗 状況
中学校における学 校給食実施率	市立中学校で完全給食を実施			-

3 地域における食育の推進

① 国

具体的な目標値	計画作成時 (平成 27 年度)	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和 2 年度)	達成 状況
朝食を欠食する若い世代の割合	24.7%	25.8%	15%以下	▼
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合	57.7%	56.1%	70%以上	▼
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	43.2%	37.3%	55%以上	▼
ふだんから適正体重の維持や減塩等につけた食生活を実践する国民の割合	69.4%	67.4%	75%以上	▼

② 徳島市

本市の状況	第1期策定時 (平成 20 年度)	第2期策定時 (平成 27 年度)	第3期策定時 (令和 2 年度)	進捗 状況
若い世代の朝食欠食率	31.0%	39.8%	26.0%	△
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を取っている割合(朝ごはん)	21.3%	26.1%	19.1%	▼
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を取っている割合(夕ごはん)	55.1%	53.7%	50.6%	▼

メタボリックシンドロームの予防や改善のために適切な食生活を行っている人の割合	31.2%	31.9%	31.6%	▼
--	-------	-------	-------	---

※『主食・主菜・副菜を組み合わせた食事』に関する質問については、国は「3つそろえて食べることが1日に2回以上あること」の設問に対して「ほぼ毎日（週に6日以上）」と回答したものを集計。市は朝ごはん・昼ごはん・夕ごはんごとに「必ずそろえている・時々そろえている・あまりそろえていない・まったくそろえていない」の項目のうち「必ずそろえている」の回答を集計。

※『メタボリックシンドロームの予防や改善のために適切な食生活』に関する質問については、国は「いつも気をつけて実践している・気をつけて実践している・あまり気を付けて実践している・全く気をつけて実践していない」の項目のうち「いつも気をつけて実践している・気をつけて実践している」の回答を集計。市は「行っている・どちらともいえない・行っていない」の項目のうち「行っている」の回答を集計。

- ・ 国は若い世代の朝食欠食率が増加しているが、市は朝食を「毎日食べている」20歳代の割合が良化している。
- ・ 適切な食生活を行っている人の割合は、国・市ともに概ね横ばいで、同傾向にある。

4 食育推進運動の展開

① 国

具体的な目標値	計画作成時 (平成27年度)	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和2年度)	達成 状況
食育に関心を持っている国民の割合	75.0%	76.2%	90%以上	△

② 徳島市

本市の状況	第1期策定時 (平成20年度)	第2期策定時 (平成27年度)	第3期策定時 (令和2年度)	進捗 状況
食育に関心を持っている人の割合	62.2%	60.6%	59.7%	▼

- ・ 前回調査時より減少しているが、20～30代、60代以上の「関心がある」割合は増加している。

5 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等

① 国

具体的な目標値	計画作成時 (平成 27 年度)	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和 2 年度)	達成 状況
農林漁業体験を経験した国民（世帯）の割合	36.2%	39.3%	40%以上	△
食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合	67.4% (平成 26 年度)	76.5%	80%以上	△

② 徳島市

本市の状況	第 1 期策定時 (平成 20 年度)	第 2 期策定時 (平成 27 年度)	第 3 期策定時 (令和 2 年度)	進捗 状況
農業に関する体験（栽培体験）をしたことのある人の割合	66.9%	66.2%	43.6%	▼
農業に関する体験（飼育体験）をしたことのある人の割合	21.4%	21.8%	10.3%	▼
漁業に関する体験をしたことのある人の割合	61.5%	51.6%	27.9%	▼
食べ残しを減らす努力や心がけをしている人の割合	80.1%	80.6%	87.6%	△

※ 『農業漁業体験』に関する設問に関しては、第 1・2 期と第 3 期策定時で、設問・回答内容に変更あり。

※ 国の『食品ロス削減のための行動』に関する設問については、食品ロスの認知度とその取り組みについての回答をクロス集計している。市の『食べ残しを減らす努力や心がけ』に関する設問については、『必ずしている・時々している・あまりしていない・全くしていない』の項目のうち「必ずしている・時々している」の回答を集計。

- ・ 食べ残しを減らす努力や心がけをしている市民の割合等、環境への配慮についての設問については、前回調査時より良化傾向にある。

6 食文化の継承のための活動への支援等

① 国

具体的な目標値	計画作成時 (平成 27 年度)	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和 2 年度)	達成 状況
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	41.6%	47.9%	50%以上	△
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承している若い世代の割合	49.3%	61.6%	60%以上	◎

② 徳島市

本市の状況	第 1 期策定時 (平成 20 年度)	第 2 期策定時 (平成 27 年度)	第 3 期策定時 (令和 2 年度)	進捗 状況
食事等のマナーに必ず気をつけている人の割合	36.2%	36.8%	35.1%	▼
次世代に伝えたい郷土料理や伝統料理があると答えた人の割合	33.4%	31.7%	自宅で行事食を行っている人の割合 89.6%	-
			徳島の郷土料理等を知っている人の割合 78.4%	
			徳島の郷土料理等を食べたことがある人の割合 92.7%	
			徳島の郷土料理等を作ったことがある人の割合 43.4%	

※ 『次世代に伝えたい郷土料理等』に関する設問の第 3 期の数値は、参考値として上記の項目を記載。

- ・ 国は、学校における和食給食提供の取り組み等により、若い世代で目標を達成。

7 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進

① 国

具体的な目標値	計画作成時 (平成 27 年度)	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和 2 年度)	達成 状況
食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合	72.0%	79.4%	80%以上	△
食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する若い世代の割合	56.8%	70.3%	65%以上	◎

② 徳島市

具体的な目標値	計画作成時 (平成 27 年度)	現状値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 2 年度)	進捗 状況
食の安全性や健康被害などに関する情報に関心がある人の割合	-	29.5%	18.5%	▼
日ごろから食育を何らかの形で実践している人の割合	47.6%	47.3%	48.6%	△

※ 『食の安全性や健康被害などに関する情報に関心がある人の割合』については、「食に関して関心のある情報」に関する複数設問のうち、回答した人の割合を記載。

※ 参考として、「食育の実践度」に関する結果を掲載。

- ・ 徳島市では、食の安全性や健康被害などに関する情報に関心がある人の割合が前回調査時より、減少している。
- ・ 食育を「積極的に実践している」市民の割合は、食育に「関心がある」と答えた市民の割合より、少なくなっている。